



国立国会図書館所蔵

# 雪駄

せった

日本の知恵、  
プラスチックの知恵

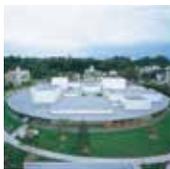
千利休も愛用した、粋な履物

「雪駄せったちやらちやら」とは、雪駄の裏につけた小さな金属板が、石畳などにあたって鳴る様子のこと。

今では祭りの時に、鱧背いなせな兄さんたちが雪駄を履いている姿を見かけますが、江戸時代は捕り物に走り回る与力や、八丁堀同心の旦那衆が日常に履いた粋な履物。現代では「ちやらちやら」は、軽薄な様子を表現するときに使いますが、昔は「かっこいい」「粋な」という意味があったようです。

雪駄は、竹の皮を編んで作った草履の裏に防水と補強のために革を張り、さらに踵かかとのすり減りを防ぐ後金あごかねという金属板を打った実用的な仕様。どこかウエスタンブーツの金属飾りを思い浮かべますが、かつては茶人の千利休が雪道を歩くために用いたのが、雪駄の始まりといわれています。

この雪駄に込めた、粋な仕様と、防水や耐久性などの機能性。住友ベークライトの防水事業も、屋根やプール、蓄熱槽や受水槽の防水シートや高断熱仕様など、地球環境にやさしいこれからの防水システムを考えています。



サンロイド  
**DN**  
防水システム®

プラスチックのパイオニア

住友ベークライト株式会社

住ベシート防水株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル  
TEL:03-5462-4111 FAX:03-5462-4873 <https://www.sumibe.co.jp>

